

石川県立中央病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

C-CAT（がんゲノム情報管理センター）データを用いた POLE 遺伝子異常と免疫チェックポイント阻害薬の効果に関する研究

[研究の背景]

POLE 変異の頻度は全がん腫において 2.8~3.4%と報告されており、近年、POLE 変異を有する固形がん患者さんの一部で、パンプロリズマブやニボルマブなどの免疫チェックポイント阻害薬の効果が得られやすいことが報告されています。しかし、これまでに本邦からの報告はなく、POLE 変異を有する固形がんに対しては免疫チェックポイント阻害薬の保険適応がないのが現状です。POLE 変異を有する固形がんに対する免疫チェックポイント阻害薬の治療開発を行うため、遺伝子パネル検査を行った際に登録される C-CAT のデータを用いた研究を行うことといたしました。

[研究の目的]

POLE 遺伝子を有する固形がん患者さんの臨床的特徴や予後、免疫チェックポイント阻害薬が投与されている場合の抗腫瘍効果等を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん：

2019 年 6 月 1 日から本研究の研究期間までの間に、保険診療としてがん遺伝子パネル検査を行い、C-CAT に臨床情報が登録された患者さんのうち、POLE 遺伝子の異常が判明した方。

●研究期間：2023 年 3 月 1 日（倫理委員会承認日）～2026 年 8 月 31 日まで

●利用する情報

C-CAT にすでに登録された匿名化された情報

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：石川県立中央病院 腫瘍内科 辻国広

●研究事務局：石川県立中央病院 腫瘍内科 木藤 陽介

●そのほかの共同研究機関と研究責任者：

国立がん研究センター中央病院 消化管内科 庄司 広和

[個人情報取扱い]

研究に利用する C-CAT の情報は匿名化されており、研究者は個人を特定できるような情報を得ることはできません。収集した臨床情報は、研究終了時まで研究事務局が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

木藤陽介

石川県立中央病院 腫瘍内科

〒920-8530 石川県金沢市鞍月東 2 丁目 1 番地

Tel: 076-237-8211